



平成 27 年 4 月 14 日

各 位

東京都大田区大森北 1 丁目 1 番 10 号  
 会社名 株式会社 大庄  
 代表者名 代表取締役社長 平 了寿  
 (コード番号 9979 東証第 1 部)  
 問合せ先 専務取締役 水野 正嗣  
 (TEL 03-5764-2229)

**第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正  
 並びに特別損失の計上に関するお知らせ**

平成 26 年 10 月 15 日に公表した平成 27 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想の修正及び特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想との差異および修正について

## (1) 連結

第 2 四半期累計期間連結業績予想値との差異 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	35,200	△220	△260	△235	△11 円 36 銭
実績値 (B)	35,414	△534	△544	△443	△21 円 42 銭
増減額 (B-A)	214	△314	△284	△208	—
増減率 (%)	0.6	—	—	—	—
前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月期第 2 四半期)	36,830	△443	△494	△528	△25 円 56 銭

通期連結業績予想の修正 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	71,850	920	845	250	12 円 09 銭
今回修正予想 (B)	71,480	920	885	250	12 円 09 銭
増減額 (B-A)	△370	0	40	0	—
増減率 (%)	△0.5	0.0	4.7	0.0	—
前期実績 (平成 26 年 8 月期)	73,116	△1,054	△1,147	△1,607	△77 円 70 銭

## (2) 個別

第 2 四半期累計期間個別業績予想値との差異 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	30,450	△250	△285	△245	△11 円 84 銭
実績値 (B)	30,632	△614	△620	△477	△23 円 09 銭
増減額 (B-A)	182	△364	△335	△232	—
増減率 (%)	0.6	—	—	—	—
前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月期第 2 四半期)	32,113	△463	△509	△511	△24 円 72 銭

通期個別業績予想の修正 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	62,300	800	730	210	10 円 15 銭
今回修正予想 (B)	61,900	800	770	220	10 円 64 銭
増減額 (B-A)	△400	0	40	10	—
増減率 (%)	△0.6	0.0	5.5	4.8	—
前期実績 (平成 26 年 8 月期)	63,622	△1,152	△1,238	△1,652	△79 円 88 銭

## 2. 業績予想との差異および修正の理由

### (1) 第2四半期連結業績予想値との差異の理由

売上高につきましては、飲食事業において、当社グループの既存店売上高の累計実績が対前年比 99.6%と、当初計画（対前年比 97.8%）を上回ったことが影響し、前回予想を若干ながら上回りました。

一方、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、通期末での計上を見込んでいた一部人件費（賞与引当金等）について、当第2四半期にて前倒し計上したことなどが大きく影響し、前回予想を下回りました。

### (2) 通期連結業績予想の修正理由

通期につきましては、第2四半期の業績および近況の売上動向を踏まえ、また第2四半期での経費の前倒し計上等を勘案した結果、前回予想を修正することといたしました。

### (3) 第2四半期個別業績予想値との差異の理由

売上高につきましては、既存店売上高の累計実績が対前年比 99.6%と、当初計画（前年比 97.8%）を上回ったことが影響し、前回予想を若干ながら上回りました。

一方、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、通期末での計上を見込んでいた一部人件費（賞与引当金等）について、当第2四半期にて前倒し計上したことなどが大きく影響し、前回予想を下回りました。

### (4) 通期個別業績予想の修正理由

通期につきましては、第2四半期の業績および近況の売上動向を踏まえ、また第2四半期での経費の前倒し計上等を勘案した結果、前回予想を修正することといたしました。

## 3. 特別損失の計上

当社は、平成27年8月期第2四半期において下記の通り特別損失の計上を行います。

### (1) 連結

合計で252百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

#### ①減損損失 171百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

#### ②固定資産除却損 57百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

#### ③店舗関係整理損 24百万円

店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。

### (2) 個別

合計で252百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

#### ①減損損失 171百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

#### ②固定資産除却損 57百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

#### ③店舗関係整理損 24百万円

店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上